



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

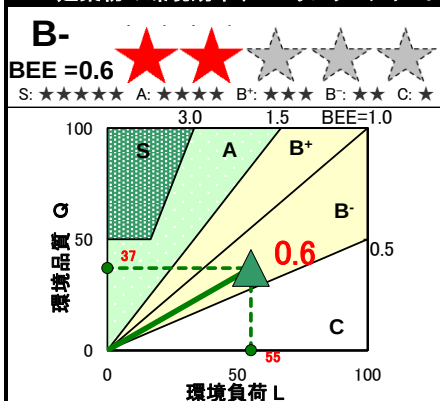
1-1 建物概要

建物名称	(仮称) 弁天町駅前田ビル新築工事	
建設地	港市区岡元町2丁目	
建築用途	ビジネスホテル	
建築主		
設計者		
敷地面積	473.39	m ²
建築面積	276.80	m ²
延床面積	2,934.14	m ²
構造/階数	RC造	/ 地上13階
完了年(予定)	2022年2月	

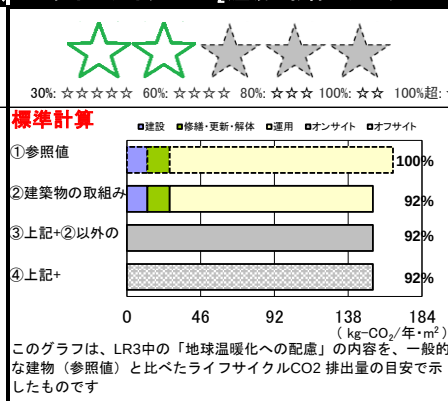
1-2 外観



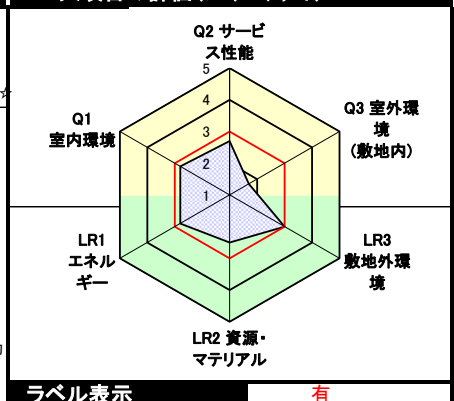
2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



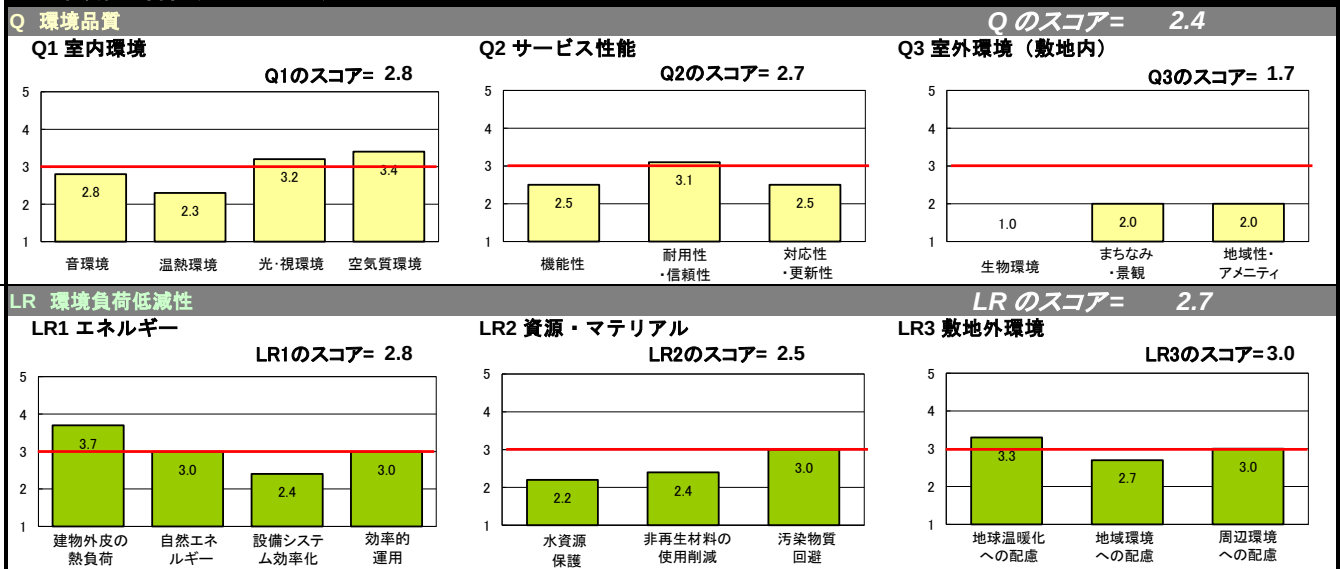
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 周辺との調和がとれるように外構を計画し、景観にも配慮し落ち着いた色彩とした。		その他 特になし
Q1 室内環境 内装仕上げ材にはF☆☆☆☆を使用することで化学汚染物質による空気の汚染を防いでいる。分煙については共用部は禁煙とし喫煙可能な客室を階で分けることで非喫煙者が煙に曝されないようにしている。	Q2 サービス性能 各居室はカテゴリ5eクラスのブロードバンドの利用を可能としている。 建物の耐用年数を高めるため外壁、主要配管設備に耐用年数の長い部材を使用している。	Q3 室外環境 (敷地内) 空地の確保、室外機の多くの排熱をGL+10m以上に設置することで地表表面温度の上昇を抑えている。
LR1 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制のため外壁にロックウール (t100)、最上階天井にポリスチレン板 (t50) の断熱材を使用	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 オール電化にすることで燃焼機器を設置しない計画とした。電灯など設備の省エネルギー対策を行うことで消費電力を抑えCO ₂ 削減に努める。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.6

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.3
配慮事項	省エネ設備を使用することで消費電力を抑えCO2削減に努めた。 オール電化にすることで燃焼器具を使用しないようにした。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 1.0
Q3 / 3 / 3.2 /	敷地内温熱環境の向上 2.0
LR3/ 2 / 2.2 /	温熱環境悪化の改善 2.0
配慮事項	空地の確保、排熱設備の多くをGL+10m以上にする事で地表面近傍の気温上昇を抑制する。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 3.7
配慮事項	断熱材として外壁にロックウール、天井に押出発泡ポリスチレン板を採用した。 客室窓は複層ガラスを採用した。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	2.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 2.4
配慮事項	施設内の電球をLEDとした。

省エネルギー基準計算結果

基準 適合状況	適合
------------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BEIm]
外皮性能	- (相当)	0.92
	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
一次エネルギー消費量	0.91	-
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		0.91

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1 設備導入の検討																
① 周辺環境の把握																
② 日照条件の検討																
ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 40 ） m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）															
イ アの周囲における日射遮蔽物	☐ なし ☒ あり <table border="1"> <tr> <td>方位（ 南 ）</td> <td>高さ（約 4 ） m</td> <td>水平距離（約 1 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ 西 ）</td> <td>高さ（約 3 ） m</td> <td>水平距離（約 1 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ 東 ）</td> <td>高さ（約 3 ） m</td> <td>水平距離（約 1 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> </table>	方位（ 南 ）	高さ（約 4 ） m	水平距離（約 1 ） m	方位（ 西 ）	高さ（約 3 ） m	水平距離（約 1 ） m	方位（ 東 ）	高さ（約 3 ） m	水平距離（約 1 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m
方位（ 南 ）	高さ（約 4 ） m	水平距離（約 1 ） m														
方位（ 西 ）	高さ（約 3 ） m	水平距離（約 1 ） m														
方位（ 東 ）	高さ（約 3 ） m	水平距離（約 1 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
ウ 日照の確保（冬至）	☐ 十分 ☒ 不十分															
③ 日照条件に適合する場所の検討																
ア 設置可能面積等	（ 115.1 ） m ² 方位（ 真南 ） 設置角度（ 30 ） 度															
イ 設置可能太陽光パネル面積	（ 7.1x1.35x0.4=3.8 ） m ²															
ウ 設置可能容量	（ 3.8x0.15=0.57 ） kW															
エ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし															
オ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）															
④ 導入判断																
検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 ☒ 導入しない																
導入を見送る理由（複数選択可） ☐ 日照が確保できない ☒ 躯体が荷重に対応できていない ☐ 敷地内に設置する場所を確保できない ☒ 費用負担が大きい ☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする ☐ その他 （ ）																
2 導入する設備の概要																
ア 太陽光パネル面積	（ ） m ²															
イ 発電容量	（ ） kW															
備考																
注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。																

1 設備導入の検討

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 40 ）m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）															
イ アの周囲における日射遮蔽物	☐ なし ☒ あり <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>方位（ 南 ）</td><td>高さ（約 4 ）m</td><td>水平距離（約 1 ）m</td></tr> <tr> <td>方位（ 西 ）</td><td>高さ（約 3 ）m</td><td>水平距離（約 1 ）m</td></tr> <tr> <td>方位（ 東 ）</td><td>高さ（約 3 ）m</td><td>水平距離（約 1 ）m</td></tr> <tr> <td>方位（ ）</td><td>高さ（約 ）m</td><td>水平距離（約 ）m</td></tr> <tr> <td>方位（ ）</td><td>高さ（約 ）m</td><td>水平距離（約 ）m</td></tr> </table>	方位（ 南 ）	高さ（約 4 ）m	水平距離（約 1 ）m	方位（ 西 ）	高さ（約 3 ）m	水平距離（約 1 ）m	方位（ 東 ）	高さ（約 3 ）m	水平距離（約 1 ）m	方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m
方位（ 南 ）	高さ（約 4 ）m	水平距離（約 1 ）m														
方位（ 西 ）	高さ（約 3 ）m	水平距離（約 1 ）m														
方位（ 東 ）	高さ（約 3 ）m	水平距離（約 1 ）m														
方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
ウ 日照の確保（冬至）	☐ 十分 ☒ 不十分															

ア 建築物の用途	ビジネスホテル
イ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☒ 給湯 ☐ その他（ ）
ウ 設置可能面積	(115.1) m ²
エ 概算年間熱利用量	(3.8x2177=8272.6) MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
カ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり (例：設備用基礎の設置) ()

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

■ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

☐ 日照が確保できない

☐ 年間を通じて安定した熱需要がない

☒ 躯体が荷重に対応できていない

☐ 敷地内に設置する場所を確保できない

☒ 費用負担が大きい

☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする

☐ その他（ ）

ア 集熱パネル面積	() m ²
イ 概算年間熱利用量	() MJ/年
ウ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他 ()

備考	
----	--